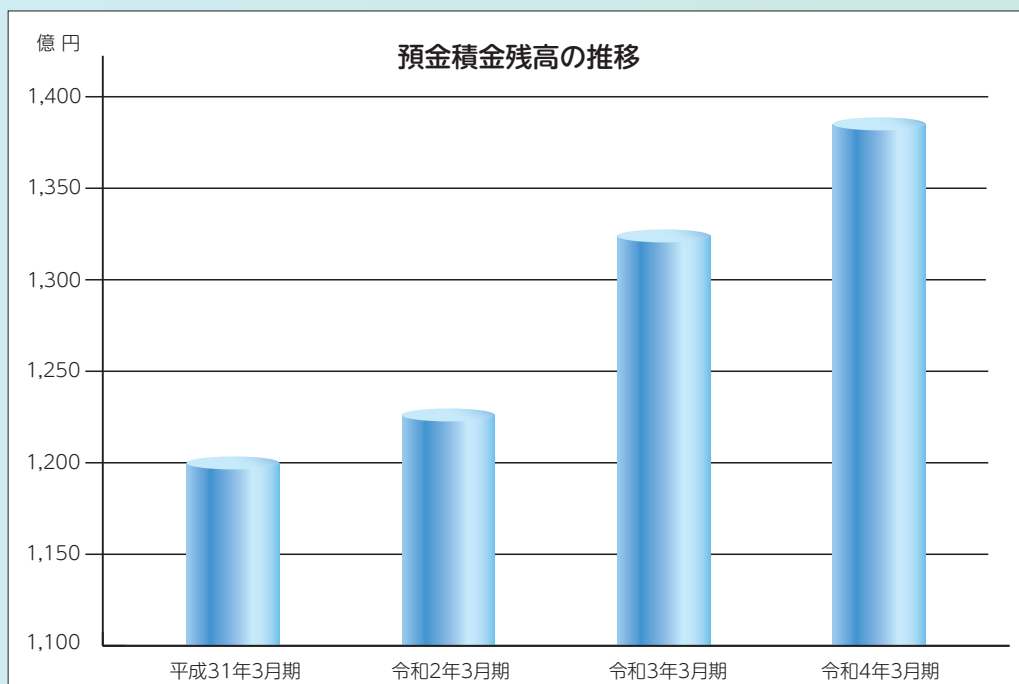


# 令和3年度の事業概況

令和3年度は第3次経営強化計画の中間年度として、地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性改善に向け、役職員が一丸となって取組んでまいりました。このような中、お取引先様の資金繰り支援に積極的に取組んだこと等により、貸出金は引き続き大幅な増加となるとともに、預金積金についても大幅な増加となりました。この結果、市場金利の低迷等により余資運用収益の減少等はありませんでしたが、資金利益は30百万円増加することができました。加えて、経費の削減に努めたこと等により、「コア業務純益」は248百万円を確保することができました。また、当期純利益は草津支店新築移転に関する解体費や遊休化した旧甲西出張所の減損を実施したこと等により、前期比22百万円減少の198百万円となりました。これからもお取引先の皆様への感謝の気持ちを第一に、より一層信頼される金融機関となるべく役職員全員で取組んでまいります。

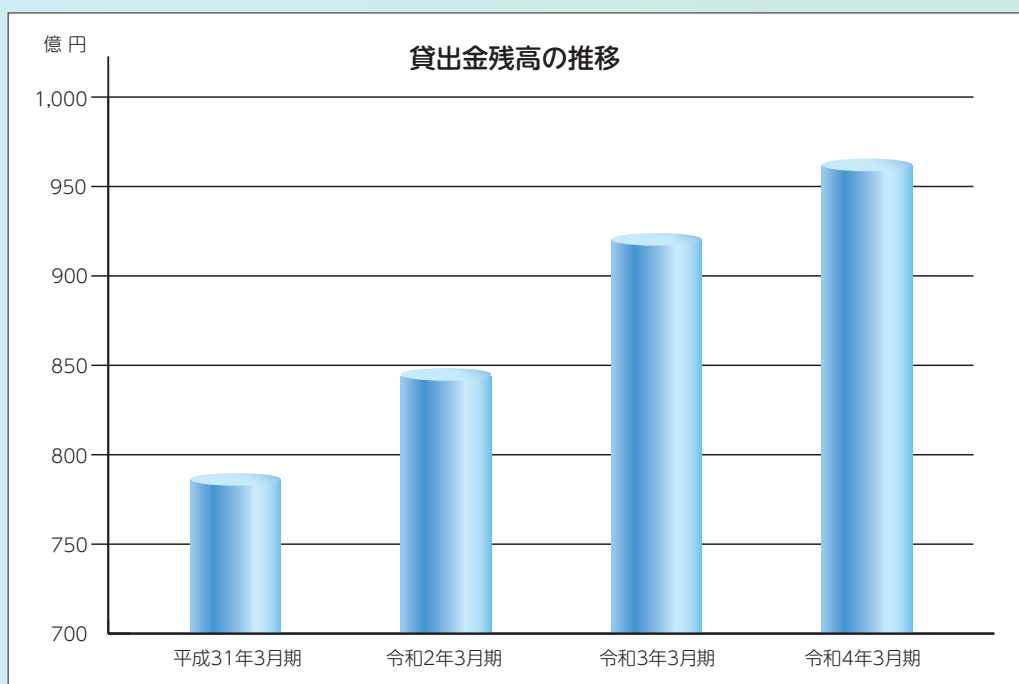
## (1) 預金

令和3年度の期末預金残高は、1,385億円と前期末比61億円の増加となりました。



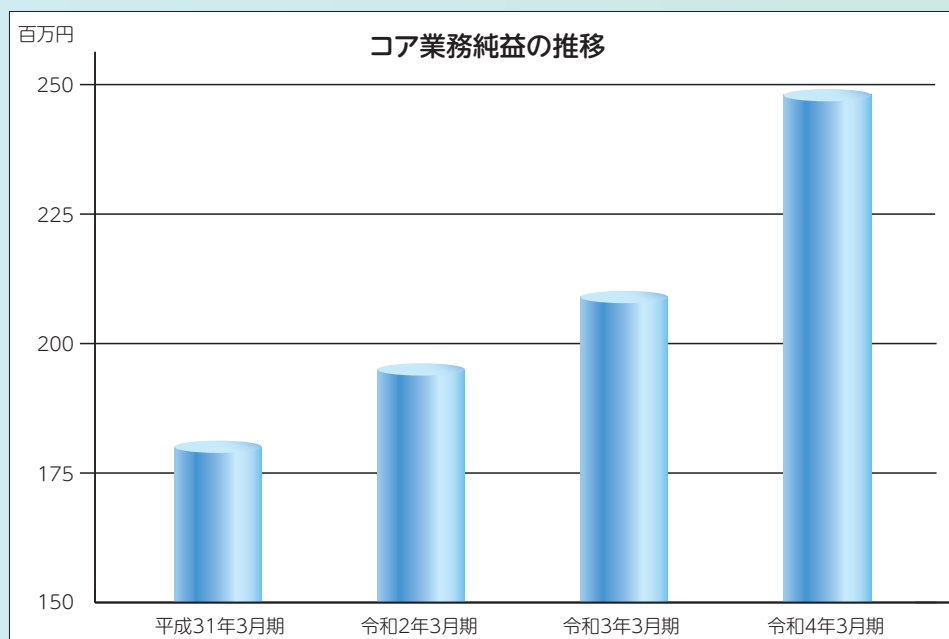
## (2) 貸出金

役職員一丸となって、推進活動に努め、貸出金期末残高は、前期末比42億円増加の962億円となりました。



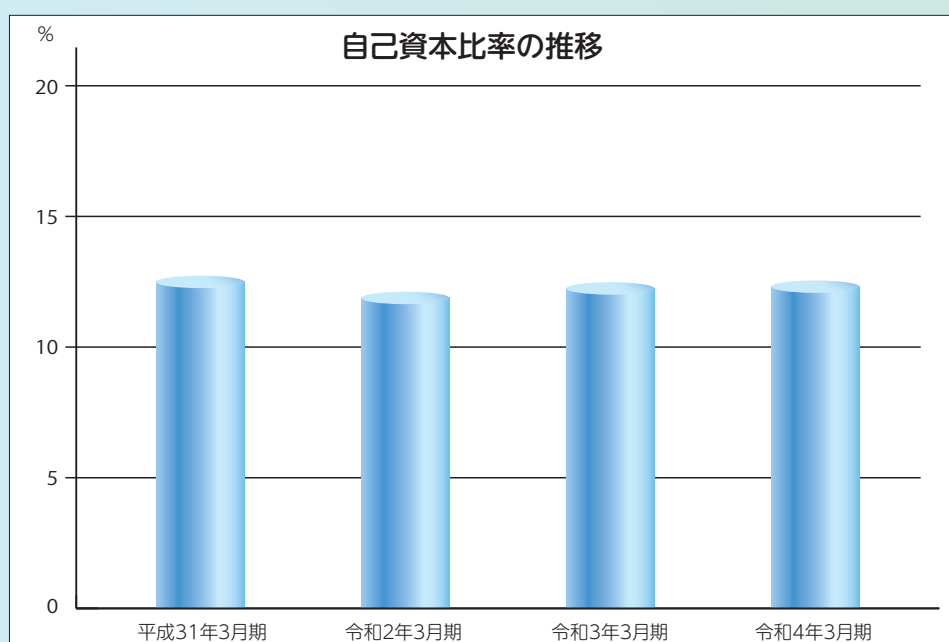
### (3)コア業務純益

貸出金の増強と経費削減に努めたことより、「コア業務純益」は248百万円を確保することができました。



### (4)自己資本比率

平成26年12月に公的資本90億円の注入を受けており、令和4年3月期の自己資本比率は12.31%と、健全性の基準である4%を大幅に上回っております。



## 主な経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
預金積金残高	119,952	122,622	132,403	138,521
出資金残高	8,083	8,084	8,086	8,095
貸出金残高	78,591	84,403	92,051	96,271
有価証券残高	29,505	27,821	24,815	21,877
資金利益	1,604	1,615	1,628	1,659
業務純益	179	191	151	206
コア業務純益	180	195	209	248
当期純利益	386	263	221	198
単体自己資本比率 (%)	12.50	11.88	12.24	12.31